

## 7) 標識放流調査

表1-10 標識放流位置連絡票

No		位 置		魚 種	標 識 No	尾 叉 長	備 考
年月日	緯 度	経 度					
1	S 52.6.20	28°-45'	128°-19'	カツオ	Q 881	(cm) 41~45	推定体重 1.3~1.8kg
2	"	"	"	"	Q 886	"	"
3	"	"	"	"	Q 887	"	"
4	"	"	"	"	Q 888	"	"
5	"	"	"	"	Q 890	"	"
6	"	"	"	"	Q 895	"	"
7	"	"	"	"	Q 899	"	"
8	"	"	"	"	Q 883	"	"
9	"	"	"	"	A C 768	"	"
10	"	"	"	"	Q 827	"	"
11	"	"	"	"	Q 823	"	"
12	S 52.6.24	26°-31.4'	126°-34.7'	"	Q 885	41~46	1.4~1.9kg
13	"	"	"	"	Q 892	"	"
14	"	"	"	"	Q 894	"	"
15	"	"	"	"	Q 900	"	"
16	"	"	"	"	Q 825	"	"
17	"	"	"	"	Q 822	"	"

昭和52年度は6月20日に28°-45'N、128°-19'Eでカツオを11尾、尾叉長は41~45cmを放流し、6月24日に26°-31.4'N、126°-34.7'Eで尾叉長41~46cmのカツオ6尾を放流した。

## 1-2 カツオひき縄(糸満)

## 1) 体長測定結果

糸満漁協に水揚げされたひき縄の漁獲物の体長組成をみると、キハダは昭和52年4月の体長範囲は38.8-42.7cm、モードは39cm、10月の体長範囲は30.2-34.9cm、モードは31cmにみられた。昭和53年3月の体長範囲は39.1-43.3cm、モードは39cmにみられた。昭和52年5月のヒラソダの体長範囲は32.3-32.6cm、モードは34cmに

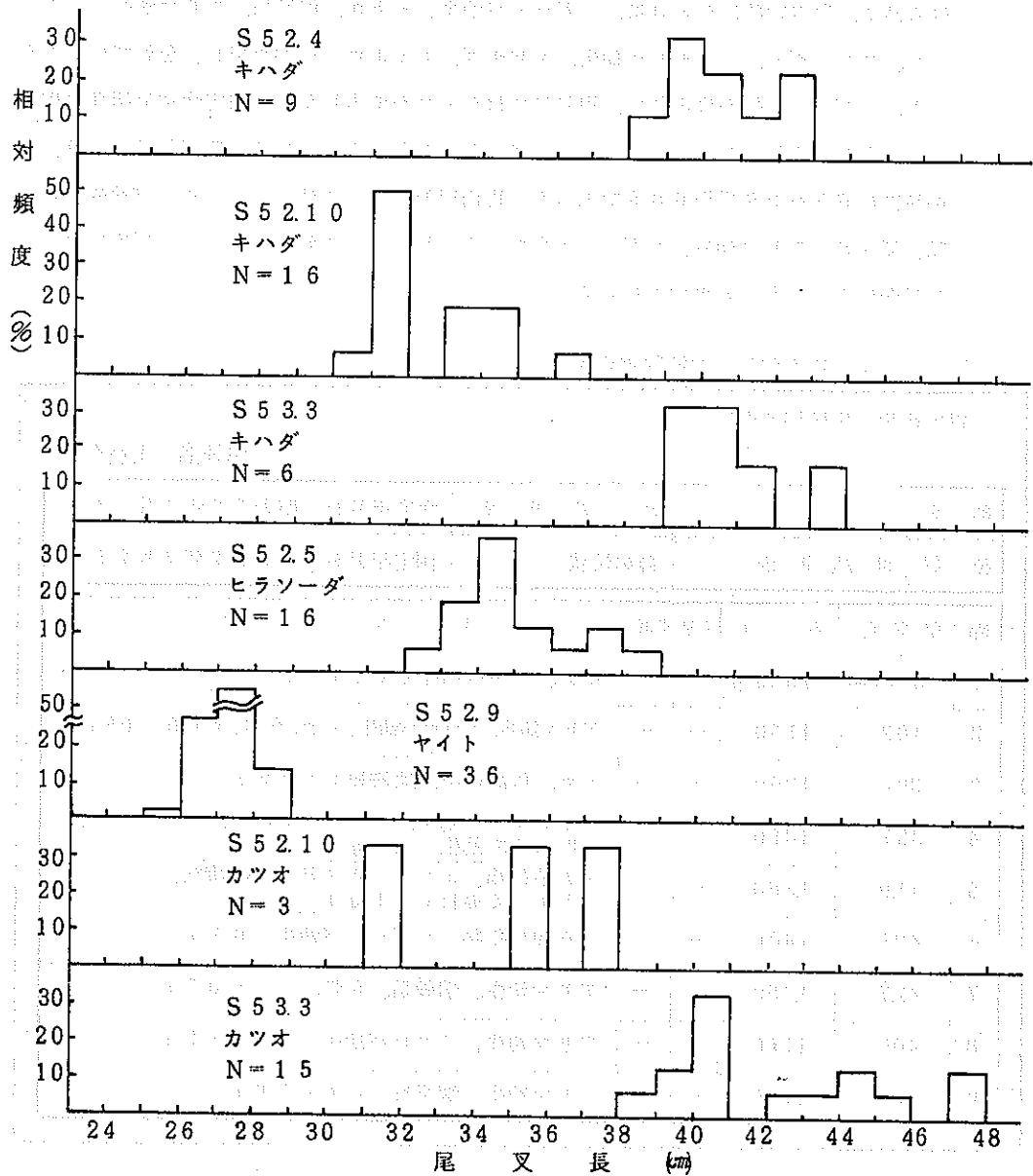


図1-10 カツオ類(ひき縄)体長組成

みられた。昭和52年9月のヤイトの体長範囲は25.2-29.0 cm、モードは27 cmにみられた。昭和52年10月のカツオの測定尾数は3個体で、体長範囲は31.9-37.4 cm、昭和53年3月のカツオの体長範囲は38.8-47.1 cm、モードは40 cmにみられた。

2) 胃内容物、生殖腺調査結果

5月キハダの生殖腺は未熟で、胃内容物はイカ、アリマ幼生、メガローパ幼生、翼足類、端脚類、フィロゾーマ幼生、クラゲノミ亜目、エリクトウス幼生が出現し、優占種はイカ類

であった。胃内容物重量の範囲は0.3—1.2.2 gで平均3.3 gであった。10月の生殖腺は未熟で、胃内容物はシャコ類、メガローバ幼生、イカ類、翼足類、アリマ幼生、テングハギ、スズメダイ、ユーセリナ幼生、キビナゴ、セミホウボウが出現し、魚類ではテングハギ、スズメダイ類が優占種で、甲殻類ではシャコが優占した。胃内容物重量範囲は0.36—1.1.5.2 g平均4.0.5 gであった。昭和53年3月のキハダの生殖腺指数は♂0.9、♀の範囲は0.5—0.9平均0.88であった。胃内容物はシャコ幼生、メガローバ幼生、長尾類、翼足類、アリマ幼生、サギフエ不明魚で優占種はシャコ幼生であった。胃内容物重量の範囲は1.3—8.6 g平均4.0 gであった。

表1-11 胃内容物、生殖腺調査票

胃内容物、生殖腺調査票					
					魚種名 キハダ
船名		漁法	曳縄	漁獲年月日	昭和52年4月24日
位置	沖縄近海	群の性状	—	測定年月日	昭和52年4月25日
No	尾叉長	体重	♀	熟度	胃内容物
1	38.8 cm	1,060 g	—	—	イカ、不明魚消化物(11.1 g)
2	40.2	1,130	—	—	アリマ幼生、メガロバ幼生、イカ、魚骨、翼足類(0.5 g)
3	39.4	1,090	—	—	イカ、魚消化物、端脚類(12.2 g)
4	39.7	1,060	—	—	フィロゾーマ幼生、クラゲノミ垂目、イカ消化物、エリクトウス幼生(1.4 g)
5	41.9	1,380	—	—	イカ消化物、エリクトウス幼生、端脚類、クラゲノミ垂目(1.5 g)
6	42.5	1,400	—	—	端脚類消化物、メガローバ幼生(0.3 g)
7	42.7	1,450	—	—	アリマ幼生、端脚類、魚骨、イカ(0.7 g)
8	40.0	1,150	—	—	アリマ幼生、メガロバ幼生、イカ(1.2 g)
9	40.7	1,160	—	—	アリマ幼生、端脚類、イカ(0.9 g)

ヒラソダの5月の生殖腺指数の範囲は♂16.6—64.6、♀19.3—106.0、平均♂37.55、♀62.57、胃内容物はシャコ幼生、カニ幼生、翼足類、端脚類、アミ類、メガローバ幼生が出現した。胃内容物重量の範囲は0—2.7 g、平均0.34 g、空胃が10個体もあった。

ヤイトの9月の生殖腺は未熟で、胃内容物はアリマ幼生、シャコ、メガローバ、ゾエア、長尾類、端脚類、フィロゾーマ幼生、魚類消化物が出現し、シャコ、アリマ幼生が優占種として出現した。胃内容物重量の範囲は0.4—13.2 g、平均3.88 gであった。

胃内容物、生殖腺調査票

魚種名 ヒラソウダ

船名		漁法	曳縄	漁獲年月日	昭和52年5月13日
位置	沖縄近海	群の性状	—	測定年月日	昭和52年5月14日

No	尾叉長	体重	♂♀	熟度	胃内容物
1	33.9 cm	644 g	♀	4	なし
2	35.5	744	♂		なし
3	35.0	665	♂		シャコ幼生、カニ幼生、甲殻類消化物
4	33.8	544	♀	2	なし
5	34.5	582	♂		シャコ幼生 (0.15 g)
6	34.4	611	♂		なし
7	32.3	500	♀	3	カニ幼生、翼足類、甲殻類消化物 (0.01 g)
8	38.6	865	♀	4	なし
9	37.9	809	♀	4	端脚類、シャコ幼生、魚骨、消化物 (2.7 g)
10	33.5	690	♂		なし
11	36.4	767	♀	3	甲殻類消化物 (0.14 g)
12	34.7	652	♂		なし
13	35.1	722	♂		なし
14	37.9	885	♂		アミ類消化物、メガロバ幼生 (2.5 g)
15	34.9	665	♂		なし
16	34.3	618	♂		なし

胃内容物、生殖腺調査票

魚種名 ヤイト

船名		漁法	曳縄	漁獲年月日	昭和52年9月7日
位置	沖縄近海	群の性状		測定年月日	昭和52年9月8日

No	尾叉長	体重	♂♀	熟度	胃内容物
1	27.7 cm	365 g	不明	未	アリマ幼生、魚消化物(5.0 g)
2	27.2	349	"	"	アリマ幼生、魚消化物(3.1 g)
3	26.6	295	"	"	魚消化物(1.2 g)
4	26.4	309	"	"	魚消化物、シャコ(1.7 g)
5	28.1	389	"	"	アリマ幼生、メガロパ、ゾエア幼生、魚消化物(2.9 g)
6	27.6	346	"	"	アリマ幼生、シャコ、長尾類、メガロパ幼生(0.7 g)
7	27.4	354	"	"	魚消化物、アリマ幼生、シャコ、長尾類、魚鱗(10.1g)
8	26.4	315	"	"	魚消化物、シャコ、長尾類(2.6 g)
9	27.2	335	"	"	シャコ、アリマ幼生、長尾類、魚消化物(2.2 g)
10	27.9	347	"	"	シャコ、メガロパ幼生、長尾類、端脚類、 フィロゾーマ幼生(2.8 g)
11	28.3	368	"	"	シャコ、魚消化物、長尾類、メガロパ、アリマ幼生(11.3 g)
12	29.0	385	"	"	魚消化物(1.2 g)
13	28.4	394	"	"	シャコ、アリマ幼生、メガロパ幼生、長尾類、 フィロゾーマ幼生(2.0 g)
14	28.2	373	"	"	シャコ、アリマ幼生、魚消化物、長尾類(6.5 g)
15	27.2	330	"	"	-
16	25.2	252	"	"	シャコ、ゾエア幼生、長尾類、魚小骨(3.4 g)
17	27.5	340	"	"	アリマ幼生、シャコ、魚小骨(0.4 g)
18	27.3	337	"	"	魚消化物、シャコ、長尾類、タコ類、 メガロパ幼生(13.2 g)
19	26.4	300	"	"	メガロパ幼生、シャコ、魚消化物(0.9 g)
20	27.5	352	"	"	魚消化物(2.5 g)

胃内容物、生殖腺調査票

魚種名 カツオ

船名		漁法	曳縄	漁獲年月日	昭和52年10月18日
位置	沖縄近海	群の性状		測定年月日	昭和52年10月19日
No.	尾叉長	体重	♂♀	熟度	胃内容物
1	35.1 cm	696 g	不明	未	シャコ幼生 (0.34 g)
2	37.4	855	"	"	" (0.15 g)
3	31.7	465	"	"	-

カツオの10月の生殖腺は未熟胃内容物はシャコ幼生が出現し、胃内容物重量は0.15 0.34 gであった。

3月の生殖腺指数の範囲は♂0.5-2.3、♀3.1-11.3、平均♂1.0、♀7.5、胃内容物はアリマ幼生、シャコ、エビ、クラゲノミ亜目、端脚類、ヨコエビ亜目、スガメソコエビ科、翼足類、トビイカ、スマ属、メガロパ幼生が出現した。胃内容物重量は0-19.7 g、平均2.00 g、空胃は3個体であった。

胃内容物、生殖腺調査票

魚種名 キハダ

船名		漁法	曳縄	漁獲年月日	昭和52年10月18日
位置	沖縄近海	群の性状		測定年月日	昭和52年11月19日
No.	尾叉長	体重	♂♀	熟度	胃内容物
1	33.8 cm	675 g	不明	未	シャコ、メガロパ幼生、イカの口ばし (0.37 g)
2	34.1	704	"	"	シャコ、魚消化物 (0.46 g)
3	31.8	644	"	"	不明魚、シャコ、翼足類、海草(アジモ?)、 <sup>ゴールドパール</sup> (8.05 g)
4	33.9	644	"	"	イカの消化物、シャコ (7.63 g)
5	31.5	519	"	"	アリマ幼生、シャコ、コウセリナ (4.70 g)
6	30.2	434	"	"	-
7	31.1	415	"	"	不明 (0.36 g)
8	31.2	485	"	"	テングハギ、スズメダイ、不明魚、イカ、カン脚類 (5.73 g)
9	32.0	559	"	"	イカ、スズメダイ幼魚、不明魚 (2.22 g)
10	36.1	783	"	"	アリマ幼生、シャコ、魚骨、イカの口ばし、セリナ幼生 (3.10g)
11	34.9	731	"	"	アリマ幼生、シャコ、メガロパ幼生 (1.97 g)
12	33.7	622	"	"	アリマ幼生、シャコ、メガロパ幼生、イカの口ばし (4.60 g)
13	34.4	655	"	"	イカ、ニサダイ科、キビナゴ、不明 (1.52 g)
14	31.5	510	"	"	テングハギ、セミホウボウ (4.46 g)
15	31.4	499	"	"	シャコ、魚消化物 (0.91 g)
16	31.2	500	"	"	スズメダイ幼魚、不明魚、シャコ、アリマ幼生、イカ、海草 (4.73 g)

胃内容物、生殖腺調査票

魚種名 カツオ

船名		漁法	曳網	漁獲年月日	昭和53年3月20日
位置	沖縄近海	群の性状		測定年月日	昭和53年3月21日

No.	尾叉長	体重	♂♀	熟度	胃内容物
1	39.4 cm	1,100 g	不明		なし
2	40.5	1,220	〃		魚小骨、アリマ幼生(1.09 g)
3	41.0	1,270	〃		なし
4	40.6	1,240	♀	2	なし
5	40.1	1,160	♂		トビイカ幼魚(4.9 g)
6	39.3	1,040	不明		シャコ、エビ、端脚類(クラゲノミ亜目)(0.6 g)
7	38.8	1,100	〃		シャコ幼生、クラゲノミ亜目(0.5 g)
8	42.5	1,370	♂		シャコ幼生(0.9 g)
9	40.2	1,260	♀	2	端脚類(クラゲノミ亜目)(0.1 g以下)

胃内容物、生殖腺調査票

魚種名 カツオ

船名		漁法	曳網	漁獲年月日	昭和53年3月29日
位置	沖縄南部	群の性状		測定年月日	昭和53年3月30日

No.	尾叉長	体重	♂♀	熟度	胃内容物
1	47.1 cm	1,870 g	♀	2	端脚目、ヨコエビ亜目、スガメリコエビ科(0.1 g以下)
2	45.2	1,620	♀	3	翼足類、骨片、消化物(0.1 g以下)
3	43.7	1,480	♂		アリマ幼生(0.1 g以下)
4	44.4	1,600	♂		消化物(0.1 g以下)
5	45.0	1,610	♂		—
6	47.1	1,920	♀	2	スマ属、イカ類、端脚目、メガローバ幼生(19.7 g)

胃内容物、生殖腺調査票

魚種名 キハダ

船名		漁法	曳縄	漁獲年月日	昭和53年3月29日
位置	沖縄南部	群の性状		測定年月日	昭和53年3月30日

No	尾叉長	体重	♂♀	熟度	胃内容物
1	39.9 cm	1,309 g	♀	2	甲殻類、シャコ幼生、魚類幼魚、メガローバ幼生(1.3g)
2	40.5	1,370	♀	3	サギフエ、シャコ幼生、イカ類、長尾類、翼足類(8.6g)
3	40.5	1,360	♂		シャコ幼生、アリマ幼生、不明魚、消化物(2.0g)
4	43.3	1,540	♂		-
5	39.1	1,090	♂		
6	41.2	1,330	♀	2	アリマ幼生、シャコ幼生、翼足類、甲殻類消化物

3) 漁獲量調査(糸満)

52年のひき縄の糸満での漁獲量は4,217.7kg、有漁日数は199日、のべ水揚隻数は1,635隻であった。昨年に比較して漁獲量は168%、魚種別にはカツオ類が8,274kgの漁獲量で昨年の74%、マグロ類は9,459.7kgの漁獲量で昨年の102%、サワラ類は1,995.7kgの漁獲量で昨年の419%、シイラは3,553kgの漁獲量で昨年の487%。サワラ類とシイラが大巾に増加したが逆にカツオ類は減少した。有漁日数は昨年の110%で昨年並、のべ水揚隻数は昨年の237%と大巾に増加した。

1日1隻当りの水揚量は25.8kgで昨年に比較して減少した。

表1-12 カツオひき縄月別漁獲量(糸満漁協)

単位: kg、隻

項目	年	1月	2	3	4	5	6
有漁日数	51	3	-	16	15	17	15
	52	3	3	9	11	22	23
のべ水揚 隻数	51	5	-	62	29	38	39
	52	4	5	31	17	104	199
カツオ類	51	46.0	-	1,990.6	804.8	1,896.6	1,712.2
	52	42.2	101.0	235.4	359.1	1,813.5	1,273.9
マグロ類	51	-	-	99.6	110.3	-	-
	52	284.6	-	428.6	-	-	-
サワラ類	51	87.8	-	-	54.9	193.4	127.0
	52	-	-	65.2	635.7	3,023.6	5,037.7
シイラ	51	-	-	-	68.9	1,430	-
	52	-	-	-	30.4	1,099.3	8.2
その他	51	-	-	-	-	-	-
	52	-	-	-	-	-	-
計	51	169.2	-	2,090.2	1,038.5	2,233.0	1,839.2
	52	326.8	101.0	729.2	1,025.2	5,936.4	6,616.6
1隻当り 水揚量	51	33.8	-	33.7	35.8	58.8	47.2
	52	81.7	20.2	23.5	60.3	57.1	33.2